

慈恵医大は、明治14年(1881年)日本私学として最初の診療を開始し、明治20年 (1887年)には皇后陛下を総裁に迎え「慈恵」の名を賜り、有志共立東京病院を東京慈恵医院に改称し、現在に至る歴史と威厳をもつ大学です。 日本の私学で4番目にできた歴史あるリハビリテーション医学講座とともに成長してきた慈恵医大の理学療法はさまざまな形で臨床的根拠を示してきました。

2022年度よりレジデントフェロー制度を開始します. 先端医療の中における理学療法を、働きながら学んでみませんか?

東京慈恵会大学附属病院リハビリテーション科

理学療法士レジデント制度

Fresh Start !!



レジデント制度について~2年間での研修~

- ✓ 臨床経験1年以上10年未満で、改めて 急性期リハビリテーション医療・理学療法を 学びながら働きたい方が対象です
- ✓ Ope-room・SCU・ICU・CCUなどの ユニット研修を通し、医学的リハビリテーション 医療に基づく最先端の理学療法の知識、 技術の習得を目指します
- ✓ 指導は専属の役職者が責任をもって担当、 2年間ですべての領域における最先端リハビ リテーション治療、臨床推論に基づく理学療法 を身に着けることができます

医療や福祉における ご自身の成長や将来を意識して







地域や生活期で何ができるか、自己実現も含めたいち医療人として

経験を積む診療も教育も そして研究の目も



急性期での医療知識と 治療の選択や実践





主な研修内容

- SCUにおける超早期脳卒中リハビリテーション治療
- 人工関節置換術周術期リハビリテーション治療
- 造血幹細胞移植前後のリハビリテーション治療(無菌室)
- 心臓リハビリテーション医療(CPXを用いたAT測定等)
- 難病・希少症例に対するリハビリテーション治療

- ICUにおけるリハビリテーションチーム医療
- 経頭蓋磁気刺激治療と理学療法
- 動作解析システム(VICON)
- 下肢リンパ浮腫治療 等

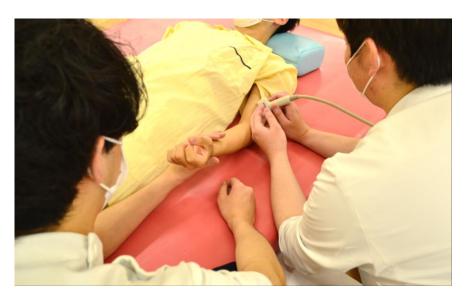
レジデント研修スケジュール

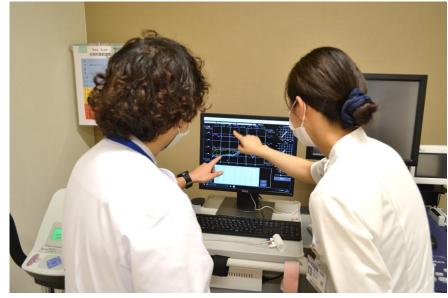
		1年目	2ヶ月目	3ヶ月目	4ヶ月目	5ヶ月目	6ヶ月目	7ヶ月目	8ヶ月目	9ヶ月目	10ヶ月目	11ヶ月目	12ヶ月目	2年目		
		一般診療						心リハ	·					心リハ研修、特殊診療		
オリエンテ	ーション															
施設見学																
周辺業務	電子カルテ操作の習得															
	医事関連管理															
	診療機器操作															
	担当症例	指導者の	治療につ	いて基本的	りな診療を	と経験・担	当									
	カルテ記載															
診療業務	疾患別経験	整形外科疾患・中枢疾患など主要疾患 大学病院特有の外科周術期、内部障害などの疾患											●心リハ研修・アドバンス ●rTMS・PMS治療			
	リハビリ実施場所	中央セクション、病棟、SCU、一部ICU						10.) , , C) > 1 > (MJW (000 (100					●周産期医療(NICU、GCU、PICU、			
	リスク管理	急性期、周術期におけるリスク管理など					個味					MFICU)				
	感染対策	基本的感染予防策の習得											●幹細胞移植(無菌室、無菌管理)● ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	カンファレンス	リハビリ・整形・脳神内・脳神外カンファ					心グバ・心グ・手期極体ガンノア					●リンパ浮腫				
	社会人としての接遇													●COVID-19(感染病棟、Full PPE)		
	大学理念													●各種カンファなど		
	講義・実技研修															
	習得度Check、FB		1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回			
	部内勉強会	PTプロジェクト;共通評価や疾患特異的評価の検討などPTのプロジェクトに参加します														
研修		希少例検討会;当学だからこそ経験ができる希少例を診療班で取り組み、学会発表・論文投稿を行います														
	リハ科合同勉強会	医局含めたリハ科合同、コメディカル全体、4病院PT部門などの勉強会に参加します														
	院内研修会	Team STEPPSや医療安全、感染対策、保険診療など多岐にわたる院内研修に参加することができます														
		整形外科;THA、TKA、関節鏡														
	手術見学	心臓外科;CABG、弁置換 脳神経外科;ITB など														
			-	-	-		4件栓外科	, IIB	-	など	-	-				

研修プログラム紹介_ 当大学病院で学べること

リハビリテーション科医の充足

- ・カンファレンスの参加 リハビリ、SCU、ICU、脳神経内科、 脳神経外科、がん、小児、心大血管、 呼吸器、整形外科など多数
- 診察見学
 入院、外来(TMS治療、BTX治療、 高次脳機能、義肢装具、リンパ浮腫、 心臓リハ・CPX、ポリオなど)
- ポリクリなどの講義





研修プログラム紹介 当大学病院で学べること

診療科の豊富さ、多職種チーム

- チーム活動見学排尿ケア、褥瘡ケア、緩和ケア、NSTなど
- ・他部門見学、講義 臨床工学部などコメディカル、事務など
- 主要疾患の診療科による講義整形外科、脳神経内科、循環器内科、 心臓外科など





研修プログラム紹介 当大学病院で学べること

先端医療や周術期の豊富な実績

・手術見学(例)

整形外科;THA(片側、両側)

TKA(片側、両側)

関節鏡(股関節唇、脊椎)

TSA

心臓外科; CABG、弁置換

脳神経外科;ITB

• 施設見学(例)

ハイブリッド手術室、ダヴィンチ、VIP、 ICU、CCU、SCU、NICU、GCU、 PICU、MFICUなど

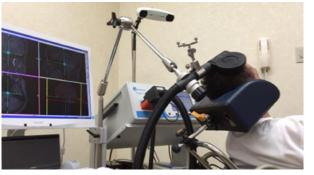
• 特殊診療













研修プログラム紹介 当大学病院で学べること

講義

・ 各領域の基礎的な知識について

専門・認定療法士や医師を講師とした 講義が月2回ペースで行われます 第一週

第三週

平日 (講師:医師)

				対象領域	研修①	研修②	研修3		
		4			理学療法評価について	情報収集・バイタルサイン	レントゲン画像		
		5		運動器疾患	運動器疾患の評価について	後療法プログラム	血液検査について		
		6	理学療法	脳血管	脳血管疾患の評価について	SCUにおける理学療法	薬の作用について		
•		7		神経筋疾患	神経筋疾患の評価について	神経筋疾患における福祉機 器	脳画像所見について		
		8			呼吸器疾患の評価について	運動療法の考え方	人工呼吸器について		
		9		呼吸器疾患		ICUにおける早期離床	鎮静剤 昇圧剤について		
	1年目	10		心筋梗塞	心疾患の評価について	CCUにおける離床について	心エコー CTRについて		
		11	心大血管		心臓リハビリテーションについて		心電図の基本		
		12		心臓外科	心臓外科術後の評価について	心臓外科術後の早期離床	CAGについて		
		1	理学療法	術後			心エコー CTRについて		
		2			心不全の評価について		心不全について		
		3		心不全	院内連携について	地域連携について	セルフケアについて (NS)		
Ī	04.0		心大血管理学療法(応用):心肺運動負荷試験・重複障害・心臓リハビリテーション指導士指導など						

| 2年目 | 心大血管理学療法(応用):心肺運動負荷試験・重複障害・心臓リハビリテーション指導士指導など 理学療法(領域別):血液腫瘍、小児疾患、研究の基礎 など

研修プログラム紹介_当 大学病院で学べる事

実技

基本的理学療法評価など希望する項目について、臨床上のポイントもおさえた実技確認を改めて研修することが可能です

テーマ	内容
情報収集	医師や看護師、カルテからの情報の取り方
バイタルチェック	ベッドサイドでのバイタルチェックのスキル
呼吸機能	聴診器の使用方法、呼吸回数の評価方法
循環機能	心電図モニターの使い方と心電図波形の理解
触診	炎症や浮腫の評価の仕方
形態計測	変化をみるための周径評価方法の習得
関節可動域測定	エンドフィールの理解を中心に
徒手筋力検査	代償動作を見逃さない測定方法
脳卒中検査	BRSを正確に評価する
筋緊張検査	mAsを正しくグレーディングする
協調性検査	協調性検査の選択と測定結果の捉え方
反射検査	腱反射評価時のひと工夫とポイント
感覚検査	感覚検査を正しく行う
脳神経検査	脳神経検査を行う意義と手順
高次脳機能検査	各種高次脳機能検査方法についての理解
疼痛検査	疼痛評価の重要性と具体的な方法
運動耐用能評価	6分間歩行テストの理解と使い方
機能的バランス検査	BBSの項目 下位項目の理解も含めて
姿勢動作観察	姿勢、アライメント観察スキルを身に付ける
基本動作評価	ABMSIIの理解と得られる情報の理解
ADL評価	BI、FIMの評価
整形外科的テスト	ひと通りの整形外科的テストを行えるようになる
リンパ浮腫	浮腫の診かた・メジャーリング



お問い合わせ

ご不明な点などございましたらメールにてお気軽にお問い合わせください

リハビリテーション科 レジデント理学療法士担当 residentpt@jikei.ac.jp

- ※メールの際には、以下を必ずご記載ください
- メールタイトル→『理学療法士レジデント制度についての問い合わせ』
- 本文には御所属と御名前を記載ください